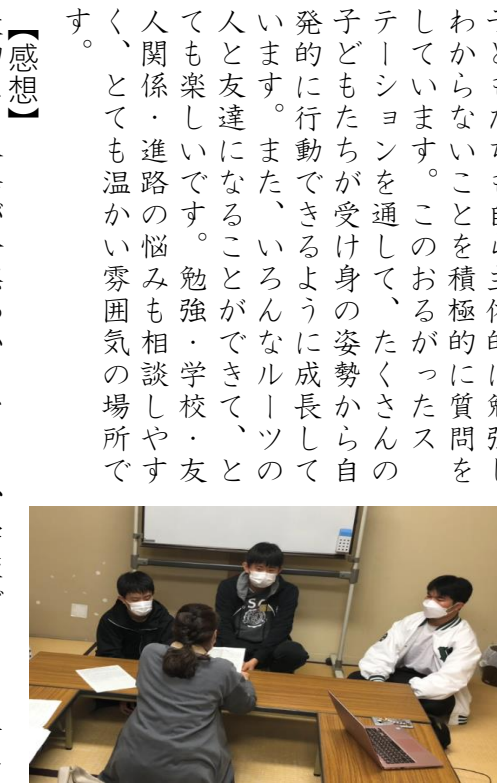


### おるがったステーション

おるがったステーションとは、日本にきたばかりの外国ルーツの子どもたちや勉強で困っている子どもたちを支える場所です。毎週日曜日に国際交流会館の5階で午前9時から12時と午後1時から3時までです。ここでは学校の授業でわからなかったところや宿題をボランティアの先生が一つ一つ丁寧に教えてくださるので、とても分かりやすく、理解しやすいです。子どもたちも自ら主体的に勉強し、わからないことを積極的に質問をしています。このおるがったステーションを通して、たくさんの子どもたちが受け身の姿勢から自発的に行動できるように成長しています。また、いろんなルーツの人と友達になることができ、とても楽しいです。勉強・学校・友人関係・進路の悩みも相談しやすく、とても温かい雰囲気のある場所です。



おるがったステーションの様子

## 外国ルーツの子どもたちからのお知らせ

### 【感想】

最初は日本語が全然わからなくて、学校でもコミュニケーションをとるのに困っていましたが、おるがったステーションに来て、学校でもしゃべられるようになったので良かったです。

スリランカ 中学2年生 テヌリ



日本語が全然できていなくて、そんな時におるがったステーションに来てちょっとずつ日本語や勉強もできるようになって、学校の人とか日本人と話せるようになりました。

スリランカ 中学2年生 アミーシャ

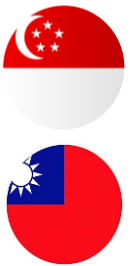


### 今年のテーマ：NEWSへ広げる世界届ける未来

私たち第三分科会「多文化共生」では、「多文化共生のBefore&After」をテーマにし、活動しました。初めに自己紹介し、多文化共生についてのイメージを聞いた後、いろんな意見を出してもらい、多文化共生の定義について説明しました。より分かりやすくするために国際交流と多文化共生の違いについて説明をしました。親の都合等により急遽、海外から日本に来ることになったEC2人の体験談として、一人は中学三年生の時に韓国から来ためぐみさん、そして、小学三年生でシンガポールから来た私が、日本との違いや日本に来て大変だったことなどについて具体的に話しました。また、海外から来た大変さを実感してもらうために英語と韓国語による体験授業をしました。この活動では、日本語での会話や周りとの相談を一切禁止にしたので、私のように突然、海外から日本に来ることになった人達の気持ちが少しは伝わったのかなと思います。そして最後に、もう一度多文化共生のイメージをみんなに聞きました。ワークやプレゼン等を通して考えてもらったため、とてもいい意見がたくさん出てよかったです。外国人住民が増えている現在は家族を日本に呼び寄せるケースも増えてきています。共に生きていくためには多文化共生をしっかり理解することが大切だと思います。この分科会を通して、多くの人に多文化共生について知ってもらう機会になればと思います。

シンガポール・台湾  
高校3年生 王柏滄

(ネダン)



### ～2021年度の行事～

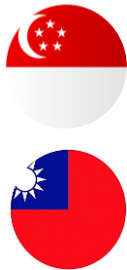
- 7月 進路ガイダンス
- 8月 第16回国際ボランティアワークキャンプ
- 9月 カヌー体験教室
- 12月 お楽しみパーティー
- 3月 第14回九州外国ルーツの生徒交流会in熊本



## 先輩からの一言

私からのアドバイスはボランティア活動や資格取得に自分から挑戦することである。活動を頑張ることによって得るものがたくさんあり、受験の願書や面接に自信が持てるようになる。私は自分から行動することが一番大切だと思う。自分から行動しなければ誰も助けてくれないし、何も変わらない。最後になるが、一生懸命頑張ってください。

シンガポール・台湾  
大学2年生 王柏林  
(ニコラス)



## ひだまり日本語クラブ

(鹿本市民センター)

子どもたちとお父さん、お母さんも一緒に勉強しています。日本語を勉強する人もいらっしやるし、学校の課題をする人もいます。小さい子どもたちは折り紙やパズルで遊びます。イベントもコロナウイルス感染症対策をして楽しんでいます。

### 【感想】

ひだまりは楽しいし、友達がいっぱいいます。宿題や勉強のわからないところを教えてくださいます。将棋やかるたもします。カヌーや馬に乗りに行ったり、誕生日パーティーをしたりします。みんなで畑を作ったり芋掘りをして焼き芋を食べました。大雨が降って大変な時もあったけど、この1年間、楽しいことがいっぱいありました。



フィリピン  
小学6年生 アントニー



## 第14回九州外国ルーツの生徒交流会

今年の生徒交流会は、例年と違い、国際交流会館での開催となりました。

一日目は、班別交流会、そして二日目は、ルーツ交流でした。色々な地域や国の人が自分たちの国との違いを共有したり、自分の悩みを共有する時間となりました。最初は皆、緊張していたが、交流会が終わる頃には皆笑顔になっていたので良かったです。



### 【感想】

初めての外国にルーツを持つ子ども達との交流会は今までの学校の友達と話したことのない自分のアイデンティティや将来について新しい視点から考えることのできる貴重な機会になりました。

日本・アメリカ 大学1年生 りさ



## カヌー体験教室

今年の外国ルーツの子どもたちのためのカヌー体験教室は、途中から雨が降り出したが、海洋少年団の指導員や大学生のおかげで無事に最後まで実施することができました。子どもたちはカヌーの乗り方・降り方を教わりました。ここではカヌーが学べるだけでなく、いろんな国の人と出会って、友達になることができます。興味がある方はぜひ参加してください。そして参加者として参加した方、来年はぜひリーダーとして参加してください！



## 日本語・教科の勉強会の紹介

(一) おるがったステーション

① 支援ネット事務局(合志市須屋)

日時 毎週土曜日 午後5時

② 熊本市国際交流会館

日時 毎週日曜日 午前10時～午後3時

(二) ひだまり日本語教室

日時 毎週水曜日 午後7時～9時

場所 山鹿市市役所山鹿市民センター  
二階共用室

(三) 大津インターナショナルクラブ

日時 不定期

場所 大津まちづくり交流センター

(四) 菊池日本語教室

日時 毎週火曜日 午後7時～8時半

場所 菊池市キクロス

(五) 共に歩み青春を語る会

日時 第一・三土曜日 午後6時～8時半

場所 菊陽町ふれあい交流福祉支援センター

(六) ひやつしろ外国にルーツを持つ子どもたちの会

日時 第二・三土曜日 午後2時～4時

場所 八代教育会館

お問い合わせ

NPO法人

外国から来た子ども支援ネットくまもと

090-3986-3401(竹村)

おるがった新聞 発行・編集

王 柏 滄